

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらスマイルキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		~ 2026年 3月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		~ 2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎の時間やデイでの過ごし方など保護者様のご希望に沿った対応が出来ている。	ご希望などを気軽にお話ししてもらえよう、送迎時や普段の連絡を通して関係構築に努めている。	送迎時だけではなく、面談の機会、保護者様と様々なこととお話ができるようなイベント、研修会等の情報を共有していく必要があると考えている。
2	公園が複数近くにあるので、季節を感じられたり、気分転換等に気軽に出かけることができる。	長期休みの期間や、利用人数により、順番に散歩に出かけたり、体を動かしたりしながら過ごし、気分転換をするように心がけている。四季もご利用者様の五感で感じることができている。	夏や冬は気温が極端なため、なかなか出られない。その為、外出以外の四季の変わり目を感じられるようなプログラムを考える。
3	夏や冬は気温が極端なため、なかなか出られない。その為、外出以外の四季の変わり目を感じられるようなプログラムを考える。	パーテーションや医療的ケアなどに合わせ、部屋の間取りを工夫して考えている。	ケアや過ごし方等をもう一度見直し、ご利用者様も職員も動きやすいよう、過ごしやすいような配置を常に考えていく。壁面もあるため、パターン化ではなく、いろいろな景色を楽しめるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページ、SNSの活用ができてない。	なかなか更新が出来ていない、行事ごとそれぞれスタッフに役割があり、SNSまでになかなかたどり着いていない。	SNS更新係も作る等など、スタッフで役割分担をし、事業所での様子を保護者様に伝えられるよう活用していきたい。
2	地域に児童館、保育園、小学校、福祉センターなどあるが、なかなか交流が出来ていない。	公園等で出会うことがあるが、なかなか声をかけたりできない。感染症のリスクなどで慎重になっている。	保育園の園庭開放や、地域のイベントに事業所として参加する。情報収集をし、地域と関わる事が出来る機会を見つけていきたい。
3	PTなど、専門性のある療育が少なく、バラつきがある。	専門職を採用していく。	ご利用者様全員が同じ療育を受けられるよう、専門性のある職員の常勤配置、採用を積極的に行う。